

南アメリカ・オセアニア
州

名前

- 問1 ある都市の気候統計において、7月前後の気温が低くなる時期（冬）に降水量が増え、1月前後の気温が高くなる時期（夏）に降水が極端に少なくなるという特徴が見られます。このような気候が見られる都市と、その名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. ブラジル北部のマナウス — 熱帯雨林気候 | 2. ブラジル南東部のサンパウロ — 温暖湿潤気候 | 3. チリ中部のサンティアゴ — 地中海性気候 | 4. ベネズエラ北部のカラカス — サバナ気候 |
|-------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問2 南アメリカのブラジルでは、サトウキビなどを原料とした燃料が自動車のエネルギーとして広く普及しています。このように、植物などの生物資源（バイオマス）を原料として製造されるアルコール燃料を何と呼びますか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|-----------|---------|
| 1. バイオ燃料 | 2. 天然ガス | 3. シェールガス | 4. 化石燃料 |
|----------|---------|-----------|---------|
- 問3 南アメリカ南部のアルゼンチンにおいて、西側にそびえる高い山脈を背景とした広大な平原で肉牛の放牧が行われている理由について、土地の条件に着目して説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 年間を通じて高温多湿な熱帯雨林気候であり、牧草が1年中絶え間なく自生し続けるため | 2. 急峻な山岳地帯の地形を活かすことで、外敵から牛を守りながら効率的に管理できるため | 3. パンパと呼ばれる平坦な温帯草原が広がっており、牛の飼育に必要な広い面積を確保しやすいため | 4. 地中海性気候に属しており、夏季の乾燥に強い家畜として牛が最も適しているため |
|---|---|---|--|
- 問4 ブラジルでは近年、大豆の作付面積が増加しています。10月から3月にかけて大豆を栽培した後、同じ耕地を利用して2月から7月にかけて別の農作物を栽培する「二期作」が行われていますが、この大豆の後に「第2作」として栽培され、作付面積が急増している農作物はどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|-------|-------|
| 1. トウモロコシ | 2. コーヒー | 3. 綿花 | 4. 小麦 |
|-----------|---------|-------|-------|
- 問5 南半球に位置するオセアニア州のオーストラリア大陸について、この大陸の東側と西側にそれぞれ面している海洋の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 1. 東側：大西洋、西側：太平洋 | 2. 東側：太平洋、西側：インド洋 | 3. 東側：インド洋、西側：太平洋 | 4. 東側：太平洋、西側：大西洋 |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
- 問6 オーストラリアの貿易相手国の変化について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる国名と、その背景の組み合わせとして正しいものはどれですか。「1960年の統計において、オーストラリアの輸出額全体の約26%を占める最大の貿易相手国は（ ）であった。しかし、その後は地理的に近い日本や中国などのアジア諸国との結びつきが強まり、貿易構造は大きく変化した。」（2026年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. アメリカ合衆国 — 冷戦下における軍事同盟に基づき、農産物の輸出を独占していたため | 2. ドイツ — 第二次世界大戦後の復興需要により、鉱山資源の主要な輸出先となっていたため | 3. イギリス — かつての植民地としての歴史的・経済的なつながりが非常に強かったため | 4. フランス — 南太平洋の島々を共同統治していた関係から、自由貿易が盛んだったため |
|--|---|---|---|
- 問7 オーストラリアがかつて行っていた白人優先の政策（白豪主義）を廃止した後に目指すようになった、異なる民族や文化を持つ人々が互いの文化を尊重し合いながら共存する社会構造を何というか答えなさい。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 1. 白豪主義社会 | 2. 同化社会 | 3. 多文化社会 | 4. 単一民族社会 |
|-----------|---------|----------|-----------|
- 問8 南アメリカ大陸のアルゼンチン共和国の首都ブエノスアイレス周辺には、肥沃な土壌を持つ広大な温帯の平原が広がっています。この平原では、温暖な気候を活かした小麦の栽培や牛の放牧が盛んに行われていますが、この地域の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------------|--------|----------|
| 1. パンパ | 2. グレートプレーンズ | 3. セルバ | 4. プレーリー |
|--------|--------------|--------|----------|
- 問9 南半球のオセアニア地域に位置するオーストラリア大陸において、ヨーロッパの人々が移住してくる以前から、独自の文化を築いて生活してきた先住民族を何と呼びますか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|--------|----------|
| 1. ヒスパニック | 2. アボリジニ | 3. マオリ | 4. イヌイット |
|-----------|----------|--------|----------|
- 問10 世界各地の州の区分において、北アメリカ大陸やアジア、ヨーロッパなどとは異なる独立した地域として扱われる場所があります。広大な太平洋の海域に位置し、大陸全体が一つの国となっているオーストラリアや、火山島やサンゴ礁の島々から成る国々が含まれる州はどれですか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 1. ヨーロッパ州 | 2. アジア州 | 3. アフリカ州 | 4. オセアニア州 |
|-----------|---------|----------|-----------|
- 問11 オーストラリアにおける移民の受け入れ状況の変化について、1970年代以降、アジアや東南アジアからの移民が大幅に増加した背景にある制度や社会の仕組みの説明として最も適切なものはどれか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 特定の地域からの移民を制限していた白豪主義が廃止され、多様な文化を尊重する多文化主義へと政策が転換されたため。 | 2. ヨーロッパ州での国家間の統合が進んだことで、ヨーロッパからオーストラリアへの移住が禁止されたため。 | 3. オーストラリアの主要な産業が農業から工業へ転換したことに伴い、ヨーロッパの高度な技術者をすべて解雇したため。 | 4. アジア諸国との貿易摩擦を解消するために、アジア各国の国民にオーストラリア国籍を無条件で付与したため。 |
|--|--|---|---|
- 問12 1990年代以降、世界的な需要の高まりを受けて大豆の増産を続け、輸出量を大幅に伸ばしてきた南アメリカの国として正しいものを答えなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|--------|-------|
| 1. ブラジル | 2. アルゼンチン | 3. ペルー | 4. チリ |
|---------|-----------|--------|-------|
- 問13 ブラジル、イギリス、中国の3か国における1985年から2035年までの人口推計に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 中国では少子高齢化の影響により、1985年から2035年にかけての年少人口割合の減少幅が、老年人口割合の増加幅を大きく上回ると予測されている。 | 2. イギリスでは高齢化の影響を強く受けるため、2010年から2035年にかけて、15歳から64歳までの生産年齢人口の実数は減少すると予測されている。 | 3. ブラジルの15歳未満の人口が占める割合（年少人口割合）は、1985年の37.1%から2035年には17.2%へと、半分以上に減少すると予測されている。 | 4. ブラジル、イギリス、中国のいずれの国においても、2035年の人口推計では老年人口割合が20%を超え、5人に1人が高齢者になると予測されている。 |
|--|---|--|--|